

櫻井宏二郎 経済学部教授

新二部学生部長に聞く

二部学生部長に櫻井宏二郎経済学部教授が4月1日に就任した(任期は1年間)。櫻井教授に仕事と勉学を両立させる学生への期待などをお聞きした。

い。1クラス約80人と一部に比べて少人数なので、教員が質問に丁寧に答えてくれる。授業で必要と対応できる。授業環境です。二部の魅力は多様性です。20歳前後の人、中堅の社会人、シルバード世代の方、高大連携の高校生が交じることもありません。年齢も経験も仕事もさまざま、仕事で必要な経済や金融を学びたい人もいれば、哲学や思想など生きていく指針を求めたい人もいます。向学心が高い多様な人との交流が刺激となり、新しい自己

仕事と勉強のバランスをとってほしい。消耗してしまわないようメリハリをつけることは大事です。仕事の都合や体調の問題で授業を欠席せざるを得ない場合も、ノートを貸し借りできる仲間がいます。20歳前後の人、中堅の社会人、シルバード世代の方、高大連携の高校生が交じることもありません。年齢も経験も仕事もさまざま、仕事で必要な経済や金融を学びたい人もいれば、哲学や思想など生きていく指針を求めたい人もいます。向学心が高い多様な人との交流が刺激となり、新しい自己

多様な人との交流で 新たな自己をつくる

学びを通じた豊かな人生を

7年ほど前から一部と二部で同じ「日本経済論」という講義を担当しています。二部の学生は熱心で、高度な質問も多

を築くのが二部といえます。大学は「学ぶことを学ぶ」場です。知的厳正性という言葉があります。大学で学ぶのは社会です。役に立つノウハウではなく、他人の意見に耳を傾け、正しいことを正しいと認め、時に自分の考えを改める素直さです。社会に対しておかし

経営学部からの『知の発信』

本学ホームページで公開

経営学部は、「専修大学経営学部50年」と今後の50年に向けて「知の発信」を大学公式ホームページで公開している。この企画は経営学部創立50周年記念事業の一環で次の3点を紹介している。

- ①創立50周年記念講演・研究のあり方を展望
- ②各講演について経営学部教員5人が学術的観点から解説
- ③今後50年の学部教育

経営学部からの『知の発信』

経営学部創立50周年記念事業

経営学部からの『知の発信』

経営学部からの『知の発信』

送ってほしいと思います。一橋大学経済学部卒業。同博士(経済学)。日本政策投資銀行勤務を経て、2007年より専修大学経済学部教授。担当は、日本経済論、経済政策。宮城県仙台市出身。趣味は食歩き。

公開講座情報

経済学部経済学科公開講座
「経済思想のリコンストラクション」
市民社会・世界資本主義・貨幣・経済発展・自己

改訂版 知のツールボックスを配布

新入生の学びを助けるための『知のツールボックス改訂版』が、1年次生全員に配布された。



森下健三氏(もりしたけんぞう) 名誉教授・元経済学部教授

「新入生援助集(フレッシュマンおたすけしゅー)」と名付けられた同書は、大学での勉強の仕方、新入生の戸惑いを解消しようと、専修大学出版企画委員会が編集・刊行。全7章構成で、ノートの取り方や文章の読み方、レポートの書き方やプレゼンテーションの方法などが丁寧に説明されている。



畑有三氏(はた・ゆうぞう) 名誉教授・元文芸学部教授

専修人の新しい本



山田節夫著

ベーシック経済政策(第2版) 山田節夫著
版は民主党政権だった2010年10月に出版。3年余たち、制度変更に伴う記述内容の刷新や、新たに生じた主題を加筆した。「テクニカルノート」として補足された項目は、第1章の経済政策における「消費税率と税収総額」から、第8章の医療サービスにおける「混合方式」まで21に上る。(同文館出版・本体2700円+税)



中西泰夫著

イノベーション(技術革新)が企業の市場競争にどのような役割を果たしているか、実証的に明らかにする。本書で取り上げるのは、生産技術の効率化のようなコストリダクション型のイノベーションだ。企業のイノベーションは、ミクロ経済学、マクロ経済学、企業行動にどのように影響するかを定量的に測定する。ミクロ経済理論を基礎に、さまざまなデータを駆使し、分析する。(専大出版局・本体2600円+税)

2015入学ガイド

ご希望の方は左記にお問い合わせください。
【神田キャンパス】 ☎03-3265-6677
【生田キャンパス】 ☎044-911-0794
http://www.senshu-u.ac.jp/admiss_info.html

MIZUHO みずほ銀行 One MIZUHO

あなただけの資産運用を〈みずほ〉がバックアップ。

豊富なラインアップで、お客さまの資産運用ニーズに、〈みずほ〉はおこたえます。

●ご相談は、お近くのみずほ銀行へ。

三井住友銀行 LEAD THE VALUE SMFG 三井住友フィナンシャルグループ